

秋さけ漁業調整対策事業調査 一抄録一

※ 藤田 修央・三戸 芳典・田村 亘

発 表 誌 名

平成2年度秋さけ漁業調整対策事業報告書（青森県）・平成3年3月青森県

抄 録

1. 太 平 洋

- ① むつ市関根浜地先において、平成2年10月上旬から12月中旬までの間に700尾の秋さけ親魚を標識放流し、193尾が再捕され、再捕率は27.6%であった。
- ② 193尾のうち本県での再捕は183尾で94.8%、北海道では3尾で1.6%、岩手県では5尾で2.6%、宮城県では2尾で1.0%であった。
- ③ 他県での再捕は、今年度の調査では全再捕尾数の5.2%と例年に比べ極端に少なかったものの、過去3ヶ年の放流結果も合わせて考慮すると、本県太平洋側における秋さけ資源は本県産及び本県外産由来のさけに依っているものと思われた。しかし、これらの量的関係を推定するには今後もデーターを蓄積していくことが必要であると思われる。

2. 日 本 海

- ① 西津軽郡車力村地先において、平成2年10月下旬から11月下旬の間に240尾の秋さけ親魚を標識放流し、46尾が再捕され、再捕率は19.2%であった。
- ② 46尾のうち本県での再捕は44尾で95.7%、秋田県での再捕は2尾で4.3%であった。
- ③ 秋田県で再捕された2尾はいずれも男鹿半島北側での再捕であり、過去3ヶ年の放流結果も合わせて考慮すると、放流地点周辺から秋田県入道崎にかけては、本県産及び本県外産由来のさけに依っているものと思われた。しかし、これらの量的関係を推定するには今後もデーターを蓄積していくことが必要であると思われた。

※ 現青森県水産課勤務